

## ひけつ2 ネットと上手につきあおう

### (13) ネット上の友だちとのやりとりからうまくぬけるには…

#### ●テーマの背景

最近、友だち同士のやりとりからぬけることができない「つながり依存」傾向が強い子どもが増えていいます。深夜までスマートフォンの無料通話アプリでのやりとりをやめられず、睡眠不足になって体調を崩したり、成績が下がったりするなど、深刻な問題になっています。

「つながり依存」は、日本の子どもに特徴的な現象です。とくに、友だちとの人間関係を構築する時期（中学1年生、高校1年生）に、つながり依存になりがちです。

平成25年 一般社団法人日本教育情報化振興会がNPO法人子どもとメディアの協力のもとアンケート調査をまとめました。その結果、つながりたいという欲求は、年齢が上がるに従ってつながり欲求が高くなっていき、16歳が一番高くなっています。また、13歳も次に高い結果になっています。13歳は中学1年生、16歳は高校1年生にあたり、新しい人間関係を構築する時期につながりたいという欲求が高まると考えられます。

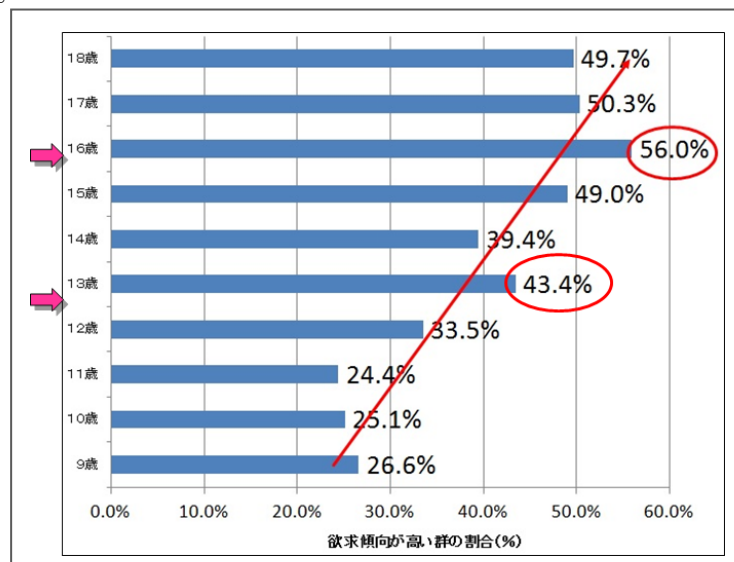


図1 つながりたい欲求と年齢

(出典:「オンライン・ベターライフ促進委員会 つながり依存実態調査報告書」  
一般社団法人日本教育情報化振興会 平成26年3月)

子どもたちは、いつも一緒にいるクラスメイトとの人間関係を維持するためにスマートフォンを使って、メッセージをやりとりしています。そしてひとりぼっち（「ぼっち」）にならないように、懸命にコミュニケーションをとりあっています。そのコミュニケーションスタイルは、社会人になったときやグローバル社会で役に立つものではなく、狭い閉鎖的な友人関係にのみ通じるものです。

※欧米はコンテンツ依存が多く見られますが、日本や韓国、発展途上国では欧米と比べ自我の確立が低いこともあり、つながり依存が多く見られます。

●行動目標、学習目標

行動目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きちんと理由を言って、自分の気持ちを伝えることができる。</li> <li>・相手の気持ちを尊重しながら、じょうずにNoと言える。</li> <li>・前もってグループ内でルールを決めて、グループのメンバーが共有する。</li> <li>・自分は何をしなければいけないのかを考え、優先順位を決めることができる。</li> </ul>
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちを大切にしないで、相手に合わせてばかり行動すると、生活面の悪影響が出ることを理解する。</li> <li>・友だちに自分の考え方や都合を伝えることにより、自分の生活リズムを守れることができることを理解する。</li> </ul>

●指導案

所要時間	学習活動	ファシリテーション上の指導上の注意点	ネットリテラシーの観点からの指導上の注意点
導入 ① 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに自己紹介する。(名前、学年、好きなアニメなど)</li> <li>・子どもが答えたアニメやキャラクターをネット検索する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の関心を引き出す。</li> <li>・学習会の目的を共有して、意識をそろえる。</li> <li>・グループに分かれる。</li> <li>・自己紹介用のワークシートを配布する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの興味のあることをネット検索し、インターネットへの関心を引きつける。</li> </ul>
導入 ② 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットやソーシャルメディアをどのように使っているか、参加者同士で意見交換する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・双方向のコミュニケーションを行い、参加者それぞれの気づきや経験を元にして話を広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者のインターネットについての知識レベルを合わせる。</li> </ul>
展開 ① 10分	<p>【コンテンツを使った学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSを使ったことがあるかを確認する。</li> <li>・「ネット上の友だちとのやりとりからうまくぬけるには…」のアニメコンテンツを見る。(アニメコンテンツを表示する。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS、無料通話アプリを使ったことがあるかを確認し、当事者意識を持てるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSについての子どもの理解度を確認し、身近に感じていることを引き出す。</li> </ul>
展開 ② 20分	<p>【ワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設問に答えながら、自分だったらどのように行動するかを考える。</li> <li>・講師からの質問に答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正解ではなく、自分の身のまわりのことを考えて、行動を考えさせる。ワークシートに記入する。</li> </ul>	
休憩			
展開 ③ 40分	<p>【グループディスカッション、グループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな選択肢を選んだか、その理由をグループで話し合う。</li> <li>・友だち同士のルールを作るグループワークを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の気づきを全体で共有することで、新しい発見を生みだす。</li> <li>・話合いの学びを深めるために基本となるルールを共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット上で友だちとメッセージをやり取りし続けるとどのような影響が出るかを考えさせる。</li> <li>・相手のことを考え、上手に断るにはどうしたらいいかを考えさせる。</li> </ul>
展開 ④ 10分	<p>【解説】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つながり依存にならないように、上手に断る方法を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解説ページを見ながら、学んだことを共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解説ページを確認する。</li> </ul>
10分	<p>【まとめ・振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことをワークシートに記入する。</li> <li>・気づきを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りをするすることで、感じたことや気づきを定着させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山本家スマホのひけつを確認する。</li> <li>・学習したことを日常生活の中で生かすように促す。</li> </ul>

●講師シナリオ案

テーマ	講師シナリオ案	発問のポイント
導入①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さん、こんにちは。私は、〇〇です（自己紹介する）。</li> <li>・次は皆さんに自己紹介してもらいます。</li> <li>・自己紹介用のワークシートに名前、学年、好きなアニメやキャラクター、好きなもの（色、食べ物など）を記入してください。</li> <li>・名札に学習会で読んでもらいたい名前を書いてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者それぞれの関心、意欲を引き出す。</li> <li>・お互いの関係性を作る。</li> </ul>
導入②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さんは、インターネットを使っていますか。どのように使っていますか（メール、音楽のダウンロードなど）。</li> <li>・何を使ってインターネットにつながっていますか（携帯電話、スマートフォン、パソコン、ゲーム機など）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一方的な投げかけではなく、双方向コミュニケーションを行い、参加者それぞれの経験をもとに話を広げる。</li> </ul>
展開①	<p><b>【コンテンツを使った学習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さんは、無料通話アプリを使っていますか。</li> <li>・無料通話アプリを使った友だちとのメッセージのやりとりが深夜まで続くことはありますか。</li> <li>・これからアニメコンテンツを見ていただきますが、皆さんがインターネットを使っているとき体験しそうなエピソードを扱っています。</li> <li>・まずは、登場人物の紹介です。</li> <li>・主人公のミサキさんは中学1年生。中学入学と同時にスマートフォンを買ってもらいました。無料通話アプリに夢中になっていますが、おかげでクラスや部活の友だちとのやりとりに疲れ気味です。</li> <li>・このエピソードは、ミサキが無料通話アプリを使ってメッセージを深夜までやりとりした結果、成績が下がってしまった事例を示しています。</li> <li>・それでは早速アニメコンテンツを見てみましょう。（アニメコンテンツを見せる。）</li> <li>・アニメコンテンツの最後に、選択肢が出てきます。自分だったらどんな行動をとるか、主人公になったつもりで考えてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料通話アプリを使った友だちとのメッセージのやりとりが深夜まで続くことはあるかを確認する。</li> <li>・まずはイントロムービーを見せる。</li> </ul>
展開②	<p><b>【個人ワーク】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いかがでしたか。コンテンツを見てどう思いましたか。感想を聞かせてください（子どもの感想を聞く）。</li> <li>・（子ども：友だちとのメッセージのやりとりをやめると、かげで何を言われるかわからないから、つついやりとりを続けてしまう。）なかなか自分からやりとりをやめられないんですね。</li> <li>・それでは、友だちとの人間関係を保ちながら、どうしたら友だちとのやりとりから抜けることができるかを考えてみましょう。</li> <li>・皆さんはどれを選びましたか。①を選んだ人？ ②を選んだ人？ ③を選んだ人？（手をあげてもらおう）</li> <li>・それぞれの選択肢を選んだ理由もきかせてください。</li> <li>・選択肢にない行動をとるといふ人はいますか。そして、その理由も聞かせてください。</li> <li>・ミサキさんはどうすればよかったのでしょうか。ワークシートに、自分がミサキさんだったらどんな行動をとるかを書いてください。その理由も書いてください（ワークシートを配る。約10分）。</li> <li>・（約8分経過したところで子どもに尋ねる）ワークシートに記入できましたか。（子ども：まだー）</li> <li>・では、もう少し時間をとりますね。（大多数の子どもが記入できていればOK）。</li> <li>・ワークシートに記入できましたか。ここで、休憩を入れます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの回答をまず、受け止める。</li> <li>・どの選択肢を選んだのかを挙手してもらい、尋ねる。</li> <li>・子どもがワークシートに記入しているかどうかを確認し、記入できない子どもに対して、わからないことがあるかを尋ねる。</li> <li>・途中の段階で、ワークシートに記入できたかどうかを尋ねる。</li> </ul>
展開③	<p><b>【グループディスカッション】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、グループごとにワークシートに記入したことをもとに話し合ってみましょう。</li> <li>・グループごとに司会進行役、記録係、発表者を決めてください。</li> <li>・まずはワークシートに書いたことをグループの中で話してください（どの選択肢を選んだか、その理由、選択肢以外の行動、その理由）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発想力が豊かですぐに意見を言える子どももいれば、そうでない子どももいるので、考える時間を設ける。</li> <li>・基本的には一人ずつ意</li> </ul>

	<p>(約 15 分)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無料通話アプリを使った友だちとのやりとりについて、友だち同士のルールを作ってみましょう。(約 15 分)。</li> <li>・いろいろな意見が出てきましたね。それでは、グループごとにルールの 3 箇条を決めてください。</li> <li>・グループごとに発表しましょう (発表するグループの順番を決める。発表時間約 10 分)。</li> </ul>	<p>見を聞く。発言していない子どもには、意識的に質問を投げかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに合意形成の練習をする。</li> <li>・全体で意見を共有する。</li> <li>・発表に対して、ほめ言葉でコメントする。</li> </ul>
展開④	<p><b>【解説】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解説ページを見ながら、学んだことを確認しましょう。</li> <li>・友だちとのメッセージのやりとりから抜けることができず、日常生活に悪影響が出るようになったら「つながり依存」「コミュニケーション依存」「絆依存」とも言います。) 傾向にあると認識しましょう。</li> <li>・成績の低下、睡眠不足、体力の低下など、生活面の影響が出てきます。</li> <li>・友だちの同調圧力に屈することなく、上手に断る練習をしてみましょう。</li> <li>・ミサキさんは、試験勉強をしなければいけないのに、メッセージのやりとりをやめることができませんでした。</li> <li>・あなたがミサキさんだったら、やりとりをやめるために、どのようなメッセージを送りますか。ワークシートに記入してください。</li> <li>・どんなことを記入しましたか (子どもに問いかける)。</li> <li>・(数名の子どもを指名して答えてもらう)。</li> <li>・いいですね。きちんと理由を伝えることが大切ですね。</li> <li>・③の選択肢のように、今、何をしなければいけないのかを考えてみるのもいい方法ですね。</li> <li>・今、何をしなければいけないのかも考えてみてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解説ページを開く。</li> </ul>
まとめ・振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山本家スマホのひけつを確認しましょう。</li> <li>・最後は皆さんに、今日学んだこと、感じたことを振りかえってもらいます。</li> <li>・「振り返りシート」に記入してください。</li> <li>・「振り返りシート」に記入できましたか。感想を聞かせてくれますか。</li> <li>・皆さん、とてもいい気づきがありましたね。これからもネットを使っているとき、困ったことがあるかもしれませんが、今日学んだことを思い出して、どのように行動したらいいかよく考えてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山本家スマホのひけつを開く。</li> <li>・「振り返りシート」を配る。</li> </ul>